

第4回四極青雲会総会・懇親会 および記念講演会

平成26年4月26日(土)の午後5時半よりトキハ会館6F「さくらの間」で、四極青雲会第4回総会・懇親会および記念講演会が開催されました。



記念講演・亀野辰三氏による「アダプト・プログラムを活用した豊の国づくり」。
亀野氏は当会の24回生(平成14年3月修了)。奥田憲昭先生

のもと地域経営について学ばれました。慶応大学経済学部をご卒業の後、大分大学大学院工学研究科博士後期課程を修了された工学博士。現職は大分高専の都市・環境工学の教授で、ご専門は都市・地域計画・景観デザイン。研究・教育はもとより社会貢献活動の一環として各地の都市空間に関する研究会・協議会などの委員長・座長を歴任されておられます。

具体的な活動事例として会報青雲第3号に掲載の「わが国初のマイツリー風景街道」をご参照ください。趣味は海外旅

行・読書・卓球・野球。好きな言葉「God in the details」。

ご講演は、先生が関わってこられた数々のアダプト・プログラムの誕生の経緯や歴史的背景と社会的意義などについて、ビジュアルで分かりやすい解説をまじえてのアダプト・プログラム特集。アダプト・プログラム(adapt program)とはアダプシオン・プログラム(adaptation program)の略で「道路里親制度」。地方自治体が道路や公園、ビーチなどの清掃活動を地元住民に任せる制度。地元住民を里親に公共施設などを里子になぞらえたもので、もともとアメリカで始まりました。この手法を活用した都市空間づくりに対する先生の熱意と情熱の一端に触れたすばらしいご講演でした。

【総会および懇親会】

総会は、(1)平成25年度活動報告と26年度活動方針案 (2)平成25年度決算報告と26年度予算案 (3)任期満了にともなう新役員の選任案の3案と、26年度の活動目標として①総会ならびに定例会の開催日程、会報「青雲」第四号の発刊 ②会員名簿の整理・拡充 ③入会金・年会費の納入者をふやすこと、④大学と連携し大学主催のセミナー開催などに協力すること ⑤大学院入学希望者の発

掘と勧誘に力をいれること ⑥四極会の各支部活動に積極的に参加すること。以上が提案され何れも満場一致で承認されました。

なお今回選任された役員は以下のとおり。

顧問

下田憲雄大分大学教授、
相良浩四極会名誉会長、
姫野昌治大分銀行頭取(20回)

会長 木本英光(1回)
副会長 伊藤隆啓(4回)

事務局長 岩尾 明(32回)

理事 梶原康弘(19回)堀誠(33回)
甲斐幸丈(34回)村上和子(博4回)高橋幹雄(36回)

参与 高栢真一(1回)衛本千代香(5回)阿部万寿夫(8回)

関谷忠(18回)桜井礼子(23回)亀野辰三(24回)井英昭(25回)

土居昌弘(25回)安部博文(28回)後藤賢吾(31回)

上田浩行(32回)江丹(32回生)川島太郎(36回)

監事 齋藤正行(14回)

記念写真の撮影後に懇親会が開催されました。撮影に間になわなかった会員がかなりおられました。事務局として相当やきもきしましたが、7時過ぎにはなんとか全員集合。

今回も現役院生の進行で、前半は新院生の道頭孝憲さんと安部敏和さんの自己紹介や今春に修了した会員の論文がらみの苦労談などでやや緊張気味も、お酒がすすむにつれリラックスした後半は、いたるところで談笑の輪がひろがり、それぞれがよい時間を過ごされているご様子でした。

ご承知のように当会は国籍・年齢・職業・出身大学・専門領域など実にさまざまで、多士済濟ですが、設立以来わずか4年の若い会です。女性および外国籍の会員と現役院生、そしてなにより若い大学の先生方にも沢山参加して戴き、設立5周年記念総会が盛大に開催されますことを願っています。四極青雲会はこれからですので、皆さんお力添え下さいますようよろしくお願い申し上げます。

出席者はご来賓の市原宏一経済学部長、下田憲雄大学院委員長、宮町良広先生、菅野隆先、鶴崎清貴先生、仲本大輔先生、奥田憲昭先生、姫野昌治大分銀行頭取、田中康生四極会顧問、穴井洋一四極会大分支部長、その他四極青雲会会員。総勢55名。

32回生 事務局 岩尾 明 記